

ヨシダ製薬の次亜塩素酸ナトリウム製剤

外用殺菌消毒剤

次亜塩0.05%液「ヨシダ」
 次亜塩0.1%液「ヨシダ」
 次亜塩0.5%液「ヨシダ」
 次亜塩1%液「ヨシダ」
 次亜塩6%「ヨシダ」

次亜塩6%「ヨシダ」	薬価基準収載
次亜塩0.05%液「ヨシダ」 次亜塩0.1%液「ヨシダ」 次亜塩0.5%液「ヨシダ」 次亜塩1%液「ヨシダ」	薬価基準未収載

芽胞※1、各種ウイルス、
結核菌※2ならびに真菌を
含む様々な菌に有効

※1:1,000ppm(0.1%)以上の濃度が維持
できれば有効

※2:1,000ppm(0.1%)以上の高濃度で有効



実用濃度製品の特徴

- 室温で保存できます。
- 希釈ミスがなく正しい濃度で使用できます。
- 使用目的に即した実用濃度を取り揃えています。
- 製剤業務の省力化が可能です。
- スプレーヘッド「ヨシダ」ガンタイプ(次亜塩「ヨシダ」専用)が装着できます(別売り)。

装着可能な対象製品:次亜塩0.05%液「ヨシダ」、次亜塩0.1%液「ヨシダ」、次亜塩0.5%液「ヨシダ」、次亜塩1%液「ヨシダ」

注) 次亜塩6%「ヨシダ」には使用しないでください。

【別売り】
スプレーヘッド「ヨシダ」ガンタイプ
(次亜塩「ヨシダ」専用)装着例



実用濃度製品:次亜塩0.05%液「ヨシダ」、次亜塩0.1%液「ヨシダ」、次亜塩0.5%液「ヨシダ」、次亜塩1%液「ヨシダ」



ヨシダ製薬

次亜塩0.05%液「ヨシダ」

Jiaen 0.05% Solution「Yoshida」

次亜塩0.1%液「ヨシダ」

Jiaen 0.1% Solution「Yoshida」

次亜塩0.5%液「ヨシダ」

Jiaen 0.5% Solution「Yoshida」

次亜塩1%液「ヨシダ」

Jiaen 1% Solution「Yoshida」

貯 法：室温保存
使用期限：3年

次亜塩6%「ヨシダ」

Jiaen 6%「Yoshida」

貯 法：冷所保存
使用期限：2年



	次亜塩0.05%液「ヨシダ」	次亜塩0.1%液「ヨシダ」	次亜塩0.5%液「ヨシダ」	次亜塩1%液「ヨシダ」	次亜塩6%「ヨシダ」
日本標準商品分類番号	872611				
承認番号	21700AMZ00105000	21700AMZ00104000	21700AMZ00103000	21700AMZ00102000	20800AMZ00579000
販売開始	2005年 7 月				1999年10月
薬価収載	薬価基準未収載				1999年 7 月

3. 組成・性状

3.1 組成 3.2 製剤の性状

	有効成分	性状
次亜塩0.05%液「ヨシダ」	100mL 中 次亜塩素酸ナトリウム(12%)0.42g (次亜塩素酸ナトリウム0.05w/v%を含む。)	無色～微淡黄緑色 澄明の液である。
次亜塩0.1%液「ヨシダ」	100mL 中 次亜塩素酸ナトリウム(12%)0.84g (次亜塩素酸ナトリウム0.1w/v%を含む。)	無色～微淡黄緑色 澄明の液である。
次亜塩0.5%液「ヨシダ」	100mL 中 次亜塩素酸ナトリウム(12%)4.2g (次亜塩素酸ナトリウム0.5w/v%を含む。)	無色～微淡黄緑色 澄明の液である。
次亜塩1%液「ヨシダ」	100mL 中 次亜塩素酸ナトリウム(12%)8.4g (次亜塩素酸ナトリウム1w/v%を含む。)	無色～微淡黄緑色 澄明の液である。
次亜塩6%「ヨシダ」	100mL 中 次亜塩素酸ナトリウム(12%)50g (次亜塩素酸ナトリウム6w/v%を含む。)	微淡黄緑色澄明の 液である。

4. 効能又は効果 6. 用法及び用量

4. 効能又は効果	6. 用法及び用量
手指・皮膚の消毒	有効塩素濃度100～500ppm(0.01～0.05%) 溶液に浸すか、清拭する。
手術部位(手術野)の皮膚の消毒、 手術部位(手術野)の粘膜の消毒	有効塩素濃度50～100ppm(0.005～0.01%) 溶液で洗浄する。
医療機器の消毒	有効塩素濃度200～500ppm(0.02～0.05%) 溶液に1分以上浸漬するか、または温溶液を 用いて清拭する。
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	有効塩素濃度200～500ppm(0.02～0.05%) 溶液を用いて清拭する。
排泄物の消毒 次亜塩0.1%液「ヨシダ」、次亜塩0.5%液「ヨシダ」、 次亜塩1%液「ヨシダ」、次亜塩6%「ヨシダ」のみ対象	有効塩素濃度1,000～10,000ppm(0.1～1%) 溶液を用いる。
HBウイルスの消毒 1)次亜塩1%液「ヨシダ」、次亜塩6%「ヨシダ」のみ対象 2)次亜塩0.1%液「ヨシダ」、次亜塩0.5%液「ヨシダ」、 次亜塩1%液「ヨシダ」、次亜塩6%「ヨシダ」のみ対象	1)血液その他の検体物質に汚染された器具 の場合は、有効塩素濃度10,000ppm(1%) 溶液を用いる。 2)汚染がはっきりしないもの場合は、有効 塩素濃度1,000～5,000ppm(0.1～0.5%) 溶液を用いる。
患者用プール水の消毒	残留塩素量が1ppmになるように用いる。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発赤等

14. 適用上の注意

14.1 薬剤調製時の注意

次亜塩0.05%液「ヨシダ」	14.1.1 本剤は濃度に注意して使用すること。
次亜塩0.1%液「ヨシダ」	
次亜塩0.5%液「ヨシダ」	
次亜塩1%液「ヨシダ」	
次亜塩6%「ヨシダ」	14.1.1 本剤は必ず希釈し濃度に注意して使用すること。

14.1.2 希釈倍数

濃度	0.005%	0.01%	0.02%	0.05%	0.1%	0.5%	1%
次亜塩0.05%液「ヨシダ」	10倍	5倍	2.5倍	原液	－	－	－
次亜塩0.1%液「ヨシダ」	20倍	10倍	5倍	2倍	原液	－	－
次亜塩0.5%液「ヨシダ」	100倍	50倍	25倍	10倍	5倍	原液	－
次亜塩1%液「ヨシダ」	200倍	100倍	50倍	20倍	10倍	2倍	原液
次亜塩6%「ヨシダ」	1,200倍	600倍	300倍	120倍	60倍	12倍	6倍

- 14.1.3 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- 14.1.4 患者用プール水の消毒に使用する場合には残留塩素が1ppmを超えないように注意すること。
- 14.1.5 希釈液は遮光して保存すること。
- 14.2 薬剤使用時の注意
- 14.2.1 経口投与しないこと。
- 14.2.2 原液又は濃厚液が眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 14.2.3 原液又は濃厚液が皮膚に付着した場合には、刺激症状を起こすことがあるので、直ちに拭き取り石けん水と水でよく洗い流すこと。
- 14.2.4 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。
- 14.2.5 使用時に発生する蒸気は呼吸器等を刺激するので、吸入しないように注意すること。
- 14.2.6 血清、胆汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落としてから使用すること。
- 14.2.7 金属器具、繊維製品、革製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- 14.2.8 使用する容器等は金属製容器を用いないほうが望ましい。

20. 取扱い上の注意

- 20.1 酸性物質が混入すると塩素ガスが発生するので混入させないこと。
- 20.2 小分け後は遮光して保存すること。

22. 包装

次亜塩0.05%液「ヨシダ」：500mL(ポリ容器)
次亜塩0.1%液「ヨシダ」：500mL(ポリ容器)
次亜塩0.5%液「ヨシダ」：500mL(ポリ容器)
次亜塩1%液「ヨシダ」：500mL(ポリ容器)
次亜塩6%「ヨシダ」：500mL(ポリ容器)、5L(ポリ容器)、18L(パグインボックス)

■詳細は電子添文をご参照ください。

■電子添文の改訂に十分ご留意ください。

次亜塩0.05%液「ヨシダ」、次亜塩0.1%液「ヨシダ」、次亜塩0.5%液「ヨシダ」、次亜塩1%液「ヨシダ」：2023年11月改訂(第1版)
次亜塩6%「ヨシダ」：2023年 9 月改訂(第1版)



ヨシダ製薬

製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曾951

吉田製薬 製品情報



文献請求先及び問い合わせ先

吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10
Tel: 03-3381-2004

©2502CL
400035
2025年2月作成